

Producer Award in Hawaii 2016



代表取締役
榎原 弘之



先月、保険会社様のハワイ表彰式に招待いただきました。例年は家族で参加するのですが、今年は長男の期末試験と時期が重なるため娘と親子二人で参加しました。娘との二人旅は初の試みで少々不安はありましたが、二人だけで旅行できる機会はあまり無いなあということで初二人旅に挑戦してみました。

ハワイでは、手厚い「おもてなし」を受け、「感謝」と「称賛」に包まれた素敵な時間を過ごすことが出来ました。生命保険の不朽の原理である「人間愛」・「家族愛」をテーマとした表彰式は、私を支えて下さる多くのお客様、家族、関係先の皆様に改めて感謝の気持ちを思い出させてくれるとともに、生命保険という仕事に携わる意義・使命を再確認させてもらう場となりました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

King Kamehameha Celebration

さて、6月のハワイは「キング・カメハメハ・セレブレーション」の時期であり、たくさんの観光客、地元の人で賑わっております。約140年前、6月11日を国の祝日とする王室宣言がカメハメハ五世により発せられ、ハワイで最も高名な英雄・戦士・政治家であるカメハメハ大王の生涯と遺産を称える国の祝日となったそうです。メインイベントであるオアフ島のパレードは、ホノルル・ダウンタウンのイオラ二宮殿を出発し、きらびやかな山車とパウライダー（飾り付けられた馬に乗った乗馬隊）がマーチングバンドとともにカピオラニ公園に向かって行進します。高さ4メートル近くの大王像に、レイをかけるセレモニー（レイ・ドレーピング・セレモニー）では、何万個もの生花で造られたレイがキング・カメハメハを彩ります。また、前日の夜には「ホオラウレア」が開催されます。ハワイ語で「ホラウエア」とはパーティーと言う意味で現在では歩行者天国で行うイベントなどに利用される言葉だそうです。言葉通りワイキキのメインストリートが歩行者天国となりライブステージや屋台が設置され、特にハワイアンダーナツ「マサラダ」の屋台は大行列でした。（一部トラベルサイトより引用）

そんな楽しい時間はあっという間に過ぎるもので、気が付くと最終日前夜のフェアウェルパーティーを迎えておりました。「フェアウェルパーティー」とは、「お別れ」を意味するパーティーだそうです。参加されていた諸先輩方と共有した素敵な時間を振り返り、お互いに称賛し合うとともに、来年のこの地での再会を誓い合いました。

娘へ

いつも近くにいととなかなか気付けない「成長」。今回の二人旅を通して一番印象深かったことは娘の成長でした。きっとママからは「パパに迷惑掛けないように自分のことは自分でやるんだよ。」と言われてきたのでしょう。身支度から社交場での振る舞い、食事のマナーまで、まだまだ子供だと思っていた甘えん坊の娘が色々なことを一人でやり、周りの人にも迷惑を掛けず長時間じっと座っているその姿にたいへん感動しました。子供が子供である時間に限りがあることを実感し、限られた時間の中で親として何が伝えられるか深く考えさせられました。二人旅をしてくれた娘には心から「ありがとう」と伝えたいですね。



保険がわかる! か・ん・た・ん・Lesson!

再び注目!! “変額保険”パート2

ファイナンシャルプランナー

堤 太郎



今回はバブル期に販売が開始されなかなか市場に定着しなかった変額保険が今再び注目され始めた理由について詳しくお話しします。

変額保険は前回もお話しましたが支払った保険料の保険関係費以外の部分が株式や債券で運用され、その運用益に応じて積立金が反映されるという仕組みになっています。当然運用が好調であれば支払った保険料を大幅に超える積立金が得られますが、逆に運用が不調であれば支払った保険料に対して積立金が下回ってしまうというリスクもあります。リスクがあるにもかかわらず売り上げを伸ばしている理由については以下のポイントが考えられます。

①預貯金での金利が見込めない

私が子供の頃はちょうどバブル景気といわれている頃で、よくこんな話を聞きました。「郵便局に預けておけば10年で貯金が2倍になる」、「宝くじが当たれば金利だけで生活できる」等、今の時代では信じられない様な事ですが実際にそれだけ金利の良い時代が日本にもありました。もし今でもバブル期の高金利が続いていればわざわざリスクのある運用商品を選ぶことはないと思いますし、その必要もありません。ですがバブル崩壊後の日本の金利は下がり続け、今では金利はほぼゼロという状態となっています。こうした市場金利の低下から運用に対する意識が高まっているといえます。

②老後資金への不安

現在日本の平均寿命は女性が86歳、男性が80歳となっています。定年退職を60歳、その後を老後とすると女性は26年間、男性で20年間の老後生活を送ることになります。今後医療技術の進歩により平均寿命はさらに長くなると言われていますが、逆に出生率は年を追うごとに減少傾向にあります。現状の年金制度では現役世代3人～4人で高齢者1人を支えています。これが

2050年頃には現役世代1人で高齢者1人を支える時代になるとも言われています。こうした現状を考えると私含め現役世代にとって年金だけでは老後の生活が送れない可能性が出てきます。年金での生活に不安が高まれば自分自身で老後の資金を準備する意識も高まります。少しでも金利が高く見込めるところで効率よく準備をしたいと思うのは当然といえます。

③インフレへの対応

将来の老後資金の準備を考える上で重要な事として“インフレ”があります。経済的な用語で難しいイメージを持つ方もいるかもしれませんが、単純に物価の上昇と考えて下さい。

例えば35年前の物価と今の物価を比べると全体の物価はかなり上昇しています。35年前の大卒の初任給が7万円、コーヒー1杯167円、私鉄の初乗りが34円でした。それが現代では大卒初任給が約20万円、コーヒー1杯は約433円、私鉄の初乗りは170円と全体で2～5倍の物価になっています。

ではこの流れを考えた時、今と比べ20年後、30年後の物価は当然上がることが予想されます。もし仮に30年後に物価が2倍になったとすると、今現在の1000万円の価値は半分の500万円の価値しかなくなります。将来の資金準備を考えた時この物価上昇を考慮に入れて準備をする事が重要となります。預金残高が増えても物価が上昇すれば資産は目減りしてしまいます。インフレが起きても資産を減らさない、そのためには金利を考慮した老後資金の準備が必要となります。

時代から必要とされる変額保険

上記3つのポイントが変額保険への意識が高まり始めた大きな理由といえます。過去の“高金利時代”を経験しその後“金利はつかない”のが当たり前となった日本において“貯蓄と保障”の両側面を兼ね備えた養老保険や終身保険が長らく販売されてきました。しかしマイナス金利政策の影響も受け、保険の予定利率も低下し、販売停止となる商品も増えました。こうした時代背景から“運用と保障”の両側面を備えた商品として、販売開始から30年経った今、大きな注目を浴びています。

今回は変額保険が注目され始めた理由についてお話しましたが、それでもなお運用という言葉に対して抵抗がある方がいるのも事実です。次回は変額保険を考える上で必ず理解すべき運用の仕組みである“ドルコスト平均法”について詳しく解説をしたいと思います。



知れば知るほど! ナルホド金融経済

国債のゆくえ

ファイナンシャルプランナー
松下 新



国債は入札により金融機関が引き受け市場に販売されますが、入札者には一般の入札者とプライマリーディーラー(PD)と呼ばれる特別会員があり、大手の金融機関がPDになっています。そのうちの一つである三菱東京UFJ銀行がPD資格を返上したニュースは今まで日銀に従順だった銀行による初のクーデターとも言うべき「事件」と言えるでしょう。

メガバンクグループで言えば三井住友は銀行とSMBC日興証券、みずほグループはみずほ銀行とみずほ証券がPDとなっており、各グループ二社がPDとなっています。一方、三菱グループは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJモル

ガンスタンレー証券、モルガンスタンレーMUFG証券の三社がPDとなっており、銀行によるPD返上により他のメガバンクグループと二社ずつの同列となったわけです。

同列になっただけだという意見もあるなか、銀行といえば日銀や金融庁などの当局に絶対に逆らわない組織。やはり今回の返上は画期的な事件と言えると思います。

PDになると財務省理財局(国債を発行する部署)との意見交換の場に出席できるなどのメリットもある反面、発行額の4%以上を応札する義務があるなど、決して楽な資格ではありません。ましてやこのマイナス金利下では引き受けた国債や自分たちが運用している国債を満期まで持つとマイナスとなってしまうため、途中で転売する必要があり、それなら初めから持つ分量を減らしたいという思いが出てくるのは当然です。

それでも御上に逆らうことをためらってきた銀行がこの「異次元」の低金利政策にこれ以上は耐えられないという不満を表明したことは前代未聞であり、今後の国債のゆくえが気になります。



夫婦同時にもしものこと…

クラーク
中畑 美絵



初めまして。3月より受付・事務スタッフとして入社しました中畑美絵と申します。皆さまとお話できる機会にご来店いただいた際やお電話のご対応となりますが、どうぞよろしくお願い致します。

皆さまは夫婦同時にもしもの事が起こったら…と考えたことがありますか?

先日、姉から「私たち夫婦が一度に事故にあったら、子供たち三人を引き取ってくれる?」と相談がありました。姉はアメリカ人と結婚しアメリカで暮らしています。普段はなかなか会えず、こうした深い話をしたことがなかったためとても驚きました。甥っ子・姪っ子のことなので引き取り

たいのは当然ですが、様々な問題も思い浮かびました。言葉のこと、お金のこと、なによりも親の代わりをするということ。普段は意識もしていなかった事ですが、こうして姉妹でじっくり話をし大切なことを前もって考える機会を与えてくれた姉夫婦にはとても感謝しています。大人になったからこそできる姉妹の会話。そこには大切な子供たちへの思いが詰まっていますね。



子どもに迷惑をかけたくない! そんなあなたの相続入門

第1回【自筆証書遺言】について

ファイナンシャルプランナー
深川 恵理子



私たちの財産が、死後、法律通り自動的に分けられれば、揉めることはありません。しかし、取り分をみんなで話し合って決めるとなると、どうしても揉めることになります。ですから、子どもに迷惑をかけたくないなら、遺言を書くことをお勧めします。遺言書の種類は、自筆証書遺言、公正証書遺言、秘密証書遺言の3種類です。今回は、手書きの「自筆証書遺言」についてまとめてみました。

テレビドラマでダンスの中から出て来るシーンも多く、ご存じの方も多いと思います。全てを自分で手書きします。用紙も特に決まっていませんが、耐久性があるものがおすすめです。

- 費用がかからない。
- 手軽にいつでも書ける。
- 書いた内容を秘密にできる。
- 証人がいない。

といったメリットがありますが、意外に難しく、デメリットが多いことに驚かれるのではないのでしょうか。

無効になりやすい!

まず、他人が代筆したり、パソコンで作成すると無効になりますので要注意です。書類はパソコンで作成する現在、サインだけ手書きの方がいいのではと考えられる方も多いようですが、くれぐれもご注意下さい。また、日付がない場合や、不動産の所在地の記載方法が違ってても効力が無くなります。また、「7月吉日」という書き方も認められません。できることなら、弁護士、司法書士などの専門家に法的に有効なものか確認をとられると安心ですね。

家庭裁判所の検認が必要!

遺言書が偽造・変造されないよう家族が遺言を見付けたら、家庭裁判所で記載内容をそのまま保存する手続き「検認」を受けなければなりません。これは、家庭裁判所の係官が立ち会って、相続人と一緒に遺言書の中身を確認することです。検認の前に開封してしまっても遺言が無効になることはありませんが、争いの元になってしまうかもしれませんので、すぐに開封しないようにして下さい。相続人が検認の前に封印された遺言書を開封してしまうと5万円以下の過料(罰金のようなもの)を払わなければなりません。遺言書を書いたら、家族に検認が必要だと前もって教えておく必要がありますね。



相続するまでに時間がかかる!

検認の手続きをして、自筆証書遺言に従って遺産の名義を書き換えるには、裁判所が発行した検認済みの証明書が必要になります。これが発行されるまでには、約2カ月かかりますので、財産を相続してもすぐに遺言通りに分けることができません。

無効になりやすいことや、検認の手続きの手間や時間を考えると自筆証書遺言は、なかなか難しいものかもしれませんね。次回は、自筆証書遺言のデメリットを解消してくれる「公正証書遺言」についてお伝えしたいと思います。

難しそうと思われる相続について分かりやすく書いていきますので、お役立ていただけると幸いです。

相続や贈与について、分からないこと、ご心配なことや「まったく考えていなかったけど、我が家の場合はどうなの?」など遠慮なく担当者にお聞き下さい。きっとお力になれると思います。



差出人・連絡先

アルシアコンサルティング株式会社

〒251-0023 神奈川県藤沢市鵠沼花沢町2-3 PHビル2階
TEL: 0466-54-8417 <http://www.arxia.jp/>

掲載内容等に関するお問い合わせは各担当営業まで。
禁無断転載 Copyright Two Way Communications Inc.